

弘前の社会教育

令和4年度事業計画

- 1 弘前市教育委員会の方針・・・・・・・・・・・・・・・・ 1P
- 2 令和4年度社会教育関係主要事業等・・・・・・・・ 2～14P
- 3 社会教育行政機構・・・・・・・・・・・・・・・・ 15P
- 4 社会教育関係施設等・・・・・・・・・・・・・・・・ 16～18P

【記載内容について】

- 1 事業等は、教育委員会社会教育関係部署が主管するもの、弘前図書館・岩木図書館・駅前分室こども絵本の森及び郷土文学館の指定管理者が行う事業を記載しています。
- 2 社会教育のうち「体育」に関するものは、健康こども部スポーツ振興課が主管しているので、記載を省略しています。

1 弘前市教育委員会の方針

弘前市教育委員会の方針

みんなが学ぶ、みんなと学ぶ、みんなに学ぶ

この方針のもと、教育自立圏の構築を推進することとしており、その2つの柱は、「小中一貫教育」とコミュニティ・スクールを含む「地域学校協働システム」である。学校が抱える課題を地域とともに解決に向けて取り組むことによって、学校にとっては教育活動の充実や教育の質の向上につながり、地域にとっては人々の生きがいがづくりやコミュニティの活性化につなげることができる「地域とともにある学校」の実現を目指すものである。

みんなで築く 弘前の社会教育

〈みんなが学ぶ〉

弘前の未来を考えながら、一人一人が主体的に学びます。



〈みんなと学ぶ〉

地域と学校が一体となり、地域全体で協働的に学びます。



〈みんなに学ぶ〉

学びの循環を進め、世代を超えて対話的に学びます。



地域コミュニティの活性化～地域とともにある学校～ (イメージ図)



2 令和4年度社会教育関係主要事業等

2-1 生涯学習課

生涯学習社会の実現をめざし、社会教育行政の事務機関として、実施機関と連携を緊密にし、社会教育振興のための諸条件を計画的に整備することにより、生涯学習の推進を図る。

実施事業

事業名	内容
研修事業	公民館等の社会教育関係職員や社会教育委員の資質向上及び社会教育における多様な課題を共有し、ニーズに適切に対応していくため各種研修事業を実施し、地域コミュニティの活性化に寄与できる人材を育てる。 主催事業：公民館関係職員研修会、社会教育関係職員合同会議の開催 派遣研修：県社会教育センターや中南教育事務所等が開催する研修会に派遣
放課後子ども教室事業	次世代の人材育成を図るため、放課後や週末に学校の余裕教室等を活用して、子ども達の安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、地域全体で子どもを育てる環境づくりを進め、子ども達に学習や体験・交流活動等の機会を提供する。 (令和4年5月～令和5年2月開設予定/市内17箇所を実施予定)
社会教育関係団体等への助成	連合婦人会事業費補助、連合父母と教師の会事業費補助、弘前地区小学校文化連盟事業費補助、弘前市中学校文化連盟事業費補助、小・中学校文化連盟大会派遣事業費補助など。
少年団体の活動助成	ガールスカウト弘前地区委員会事業費補助、相馬子ども会育成協議会事業費補助
二十歳の祭典	当該年度中に20歳となる方を対象に集いの場を設け、互いの成長を認めあいながら、社会人としての自覚と意識の高揚を図るために開催する。
社会教育施設管理	市民の生涯学習の拠点として快適に利用できるよう、総合学習センター及び農村環境改善センターの管理運営を行う。 なお、平成23年4月1日から総合学習センターは指定管理者制度を導入し、施設運営の効率化を図っている。
学びのまち情報提供事業	地域の様々な情報を集積し、市民や学校、企業等が活用しやすい情報として提供し、学習活動や団体間の連携促進を図る。
食育推進情報発信事業	食育への理解の深まりや各取り組みの相乗効果を図るため、庁内や関係団体の食育に関する取り組みについてホームページやシンポジウム等を通じて情報発信する。
ひろさき教育創生市民会議	弘前市が目指すべき教育の姿、施策の方向性や子どもの育ちと学びを推進する教育システムに関することなどについて協議する。

【 図書館・郷土文学館運営推進室 】

事業名	内容
図書館・郷土文学館施設管理	市民の生涯学習の拠点として快適に利用できるよう、図書館・郷土文学館の管理運営を行う。なお、平成29年4月1日から図書館（調査室を除く）・郷土文学館は指定管理者制度を導入し、施設運営の効率化を図っている。 (通年)
古文書デジタル化推進事業	古文書・古典籍を文化遺産として保存するだけでなく、公開により津軽の魅力を全世界に向けて発信し、社会教育・学校教育・観光などの活動を支援する。 (通年)
古文書読み方講習会(中級)	所蔵資料等をテキストとした難易度が高めの古文書読み方講習会を実施する。 (1～3月)
これで読めるようになる！チョー初心者のためのくずし字講座	まったくの初心者のための「くずし字が文字に見えるようになる入門講座」。古文書を扱うための基礎知識も学ぶ。 (11～12月)
古文書等の補修・複写事業	傷んだ古文書等を補修するとともに、複写本を製作し利用に供する。 (通年)
レファレンスサービス	利用者の調査・研究活動等に伴う質問に資料紹介等の支援を行う。 (通年)

2-2 公民館

市立公民館の基本方針

現代社会においては、人口減少に伴う少子高齢化、人と人との関係性の希薄化など、いわゆる現代的課題がますますクローズアップされてきている。

必然的に社会教育、公民館もこの状況に対応することが求められ、かつ、令和2年度から猛威を振るっている新型コロナウイルスに対応した新たな学習スタイルも構築しなければならない。

また、効率的、効果的な事業の実施に向け、従来からの教育委員会関係各課・施設との連携・協働のほか、市長部局を始め、NPO、民間団体等、様々なテーマに取り組む多種多様な団体との連携・協働の必要性が一層高まっていくものと予想される。

他方、本市においては、「教育自立圏」の構築を掲げており、それを担う2つの柱である「小中一貫教育」「地域学校協働システム」のうち、地域学校協働システムにおいては、学校の課題解決に地域の力を活用することとしており、このシステムの推進により、学校教育活動の充実のみならず、同時に人口減少、高齢化等の諸課題を抱える地域の活性化も図ることが期待されている。

これらの現状を踏まえ、本市における「人づくり」「地域づくり」を推進し、住民の福祉の向上を図るため、令和4年度の公民館の基本方針を次のように定める。

- (1) 誰もが気軽に立ち寄れる公民館の創出
学びの場であるとともに、集いや交流の場である公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる施設であることが重要となることから、地域住民の誰もが来やすい公民館の雰囲気醸成と施設等の計画的な修繕に努める。
- (2) 多種多様な学習機会の創出
変化していく社会に対応し、自らの人生を豊かにするために、生涯に渡り学び、また、その成果を社会に還元できる学びの循環につながるよう、多種多様な学習機会を創出する。また、新型コロナウイルス感染症への対応として、3密にならない等の対策のほかテレビ会議システム等、新たな学習スタイルの検討、実践に努める。
- (3) 地域への愛着、誇りを育む学習の推進
ひろさき卍学の理念に立ち、地域のあらゆる人材、素材、伝統、文化等を活用した学習を進めることで、子どものみならず大人に対しても生まれ育った地域、生活している地域への愛着、誇りを育む。
- (4) 地域活動、ボランティア活動の推進
地域活動や自主的なボランティア活動を支援することで、連携・協働による地域コミュニティの活性化を推進し、持続性のある地域社会の構築に努める。
- (5) 公民館職員等に対する研修の推進
大きく変革し続ける社会における多種多様な学習ニーズ、現代的課題等に的確に対応するため、公民館職員、学区まなびい講座運営委員の研修等を行い、資質向上を図る。
- (6) 地域学校協働システムの活用の推進
地域全体で子どもたちを守り育て、また、地域の活性化を図るため、地域学校協働システムの活用について検討、実践に努める。

2-2 (1) 中央公民館

運営方針

- 教育委員会の各課・各施設、公民館、学区まなびい講座、小・中学校をはじめとする教育機関との連携はもとより、市長部局、地域の各種団体・機関、NPO 等との連携・協働を進め、効率的、効果的に公民館事業を進める。
- 住民の主体的な学び、活動を支援するとともに、地域・家庭・学校の連携・協働を支援し、活力ある地域コミュニティの充実に努める。

実施事業

事業名	内容
子どもの活動推進事業	子どもの活動を主とした地域コミュニティ活性化を目的とし、地域・学校が一体となって子どもを育成する事業に対し1小学校区につき5万円（補助率90%）を上限に補助する。
学区まなびい講座支援事業	市街地における小学校区（11学区）の各運営委員会が、主体的に地域の課題や住民のニーズに即した各種講座や事業の企画・立案を行い、実施することに対し支援する。
子どもリーダー養成事業 （弘前市・太田市青少年交流事業）	市内の小・中学生、高校生を対象に、月1回程度、異なる地域や学校、異なる年齢の子どもたちが、グループワークや集団活動、宿泊体験、交流活動等を行う。太田市との交流（訪問交流と受入交流を各年交互に実施）を行う。
弘前市子どもの祭典支援事業	公募した市内の中・高校生が主体となり、毎年11月3日（文化の日）に開催する『弘前市子どもの祭典』において、参加者同士の交流や、様々な学び・体験の機会を創出する。また、実行委員が事業実施に至るまでの過程を通じ、多様な考え方や価値観の共有、仲間づくりの大切さを学ぶ機会となるよう企画運営を支援する。
子どもクラブ事業、ウィークエンド子どもクラブ	小・中学生を対象に、生涯学習の動機づけとなるよう、多様な活動・学習・体験の場を提供する。異なる年齢の子どもと一緒に活動することにより、社会性やコミュニケーション能力の向上、豊かな人間性を育む。
弘前大学との地域づくり連携事業	弘前大学と弘前市の連携に関する協定に基づき、弘前大学と公民館が連携して、地域課題の解決に向けたテーマ等を設定する。共同で事業を実施することにより地域づくりや人材育成を図る。
市民講座事業	「現代セミナーひろさき」では多様化する社会問題への対応や解決方法を学び、「国際交流事業」では外国人との相互理解や交流を通じて学習意欲を高めるきっかけ作りを図る。
成人教育事業（「ベテランズセミナー」）	おおむね60歳以上の市民を対象に、多様な学習機会を提供し、年齢に応じた社会的能力を養うとともにそれを広く社会に生かし、積極的に生きがいを持つきっかけとしてもらう。
文化センターフェスティバル支援事業	中央公民館の支援を受けて弘前文化センターで定期的に活動しているグループに、例年11月に日頃の活動の成果を発表する場を提供し活動の活性化を図る。また、広く市民にその活動を理解してもらうとともに、生涯学習のきっかけづくりとする。（弘前文化センター改修工事のため、ヒロロにおいて代替イベント「文化グループ作品展発表会」を開催予定）
青年の学習活動活性化事業	青年層（18歳～50歳）が必要とする情報、知っておくべき知識を提供する講座を実施し、青年の自立を促し、職業・年齢を超えた交流を図り、仲間づくりの実現と、学習した青年たちが自らの地域において社会をリードする存在となることを目指す。
ピュアフレンズ支援事業	知的障がい者の生涯学習スクール「ピュアフレンズ」では、弘前市総合学習センターを会場に、弘前市及び周辺地域に住む知的障がい者の生涯学習活動の場の提供と活動支援を行う。ボランティアのスタッフが中央公民館と連携して彼らの活動を支援する。

事業名	内容
キッズ☆ワールド運営支援事業	学校や年齢が異なる子どもたちが、仲間と協力するレクリエーションや遊びの活動をとおして、自身の成長を感じられる場を提供する。 また、弘前大学の学生が、子どもの成長に必要な体験活動を検討し、それが活動に反映できるように企画するなど、実践を通じた学習の場を提供する。
キッズネットクラス運営支援事業	東地区居住者を中心に、未就学児を持つ親子が気軽に集い、子どもの集団遊び、親子の交流、育児に関する情報交換などを通して、ボランティアと子育て中の親子がともに考え学ぶ場を提供する。
文化グループの支援・育成事業	公民館講座を通じて生まれた市民の自主的な学習活動を支援することにより、市民が学びを深めるとともに社会への還元を図る。
子ども観劇・演劇ワークショップ事業	市内の小学生に本格的な児童劇を鑑賞する機会を提供し児童の豊かな情操を育む。 また、市内の中学生演劇部員等を対象に、公演を行っている劇団員等による演技指導を実施し、演技の技術向上及び市の文化的活動の底上げを図る。
アーティスト体験ワークショップ	小・中学生を対象に、文化芸術団体の活動の紹介・披露を含むワークショップを開催し、一流に触れることで、子どもたちに文化芸術への関心・興味を育む。
地域でまなぼう！食育講座いただきます	「食」への感謝や楽しさ、重要性について学び合い、「食」に関する正しい知識や判断力、規則正しく健全な食習慣の育成を図る。公民館や学校等の設備を活用し、小・中学生の親子を含む異年齢、多世代を対象に地域の食材や人・ものといった地域資源を生かした体験型の食育事業を実施する。
公民館活動等活性化アドバイザー事業	地区公民館等の活動活性化に向けて、地区ごとに調整、検討、提案するアドバイザーを各地区公民館等へ派遣する。
中学生×医師交流プログラム	「自律的に学ぶ心」「なりたい自分に近づくチャレンジ精神」を育み未来をつくる弘前っ子の育成を図るとともに、医療職に対する理解を深めるため、弘前大学の医師や医学生との交流、実習体験、施設見学を実施する。
ふるさとゆかりの偉人マンガ製作・活用事業	ふるさとゆかりの偉人に関するマンガを製作・発行し、小・中学校の授業等で活用する。

学区まなびい講座実施状況一覧【11学区】(令和3年度)

講座名	開設場所	開設講座・教室等
文京学区ふれあい講座	文京小学校	思春期講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ヨガ教室、ねぶた絵教室、スタンドグラス講習会
松原学区ふれあい講座	松原小学校	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止
和徳学区社会教育講座	和徳小学校	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止
時敏学区まなびい講座	時敏小学校	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止
北学区社会教育講座	北小学校	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止
城西学区ふれあい講座	城西小学校	城西学区町会史資料作成事業
西学区まなびい講座	西小学校	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止
大成学区まなびい講座	大成小学校	朝のラジオ体操、手作り教室
三大学区生涯学習講座	三大小学校	わくわくりんご探検隊(3回)、弘大連携事業(理科実験教室)、健康こども部タイアップ事業(健康講座)
朝陽学区まなびい講座	朝陽小学校	おはなしの森、親子手作り教室(金魚ねぶた)
桔梗野学区生涯学習講座	桔梗野小学校	クリスマスボックスフラワーアレンジとキラキラキャンドル作り

2-2 (2) 中央公民館岩木館

運営方針

- 中央公民館、中央公民館相馬館、岩木地区内小・中学校や町会公民館等関係団体との連携・協働を図りながら、公民館事業を進める。
- 施設の計画的な修繕等を行うとともに、学習機会の継続的な提供と学習成果を生かせるような環境づくりを通して、地域コミュニティの推進に努める。

実施事業

事業名	内容
花いっぱい運動	地区住民が町会毎に花植えをすることにより、奉仕する心や地区全体の連携協力、環境美化意識の醸成を促す。
伝統文化学習講座	岩木地区小・中学校のクラブ活動や総合的な学習の時間を利用し、子どもたちが地域の伝統芸能や文化・歴史に触れ、その良さを認識し、理解を深めるとともに、地域に対する愛着と誇りを育む。
ふるさと青少年教育事業	自然体験をはじめとした様々な体験活動等とおして、子どもたちの生きる力を育む。
ねっとワーク・いわき関連事業	地区住民の生涯学習の活性化を図るため、情報紙「ねっとワーク・いわき」の発行。
子育てサロン「岩木びよびよひろば」	乳幼児とその保護者を対象に、親子の健康や育児に関する情報交換の機会を提供する。
おもと 万年青大学	おおむね60歳以上の地区住民対象に健康保持と教養を高めることで生きがいのある充実した生活の一助となるよう各種クラブ等を開設する。

2-2 (3) 中央公民館相馬館

運営方針

- 中央公民館、中央公民館岩木館、相馬小・中学校、相馬地区町会、町会公民館、関係団体等との連携・協働を図りながら、公民館事業を進める。
- 学習機会の継続的な提供と学習成果を生かせるような環境づくりを通して、地域コミュニティの推進に努める。

実施事業

事業名	内容
やすらぎ館セミナー相馬 熟 <small>こころしよく</small>	相馬地区の住民を対象に各年代や領域に応じた生涯学習講座を概ね月1回開催する。
福寿大学	高齢者に対し学習機会を提供し、積極的に生きがいを持ち充実したゆとりある生活を送ってもらうため講座や移動学習等を開催する。
紙漉き体験事業	紙漉き地区に言い伝えが残る紙漉き体験を通じて、和紙づくりの楽しさと郷土の歴史を学ぶ。
相馬地区文化祭	伝統芸能や文化に親しみながら参加体験を通じて、地域の連携と活性化を図る。

2-2 (4) 地区公民館

実施事業

- 子どもたちが色々なことを体験し、学びながら他者とのコミュニケーション能力を高めるために少年教育事業を実施する。学社協働事業として、小・中学校や関係団体と連携・協力し、児童生徒が地域の伝統や文化・スポーツなどを学ぶための講師派遣や高齢者との地域交流事業を実施する。
- 青年たちが生活に生かせる知識や技術の習得を通して仲間づくりのきっかけを得るために青年教育事業を実施する。
青年教室、青年講座など。
- 女性たちが生活や家庭、一般教養に関する知識や技術の習得を通して地域活動の仲間づくりにつながるよう女性教育事業を実施する。
女性教室、女性講座など。

- 子どもを持つ親や高齢者など、幅広い成人たちがそれぞれ意識する課題について学び、生活に役立てることができるように成人教育事業を実施する。
家庭教育学級、成人教室、高齢者教室、市民講座など。
- 地域の団体が連携し、文化の振興や地域づくりなどを図るための事業を実施する。
公民館まつり・文化祭、弘前大学との地域づくり連携事業など。

領域区分一覧

領域別	内容
少年教育	小学生、中学生、高校生を対象とした事業等
青年教育	青年を対象とした事業等
女性教育	女性を対象とする事業等
成人教育（家庭教育）	家庭教育学級等
成人教育（高齢者教室）	おおむね60歳以上の高齢者を対象とする教室等

地区公民館 主な領域別事業実施状況一覧【12地区】（令和3年度）

公民館名	少年教育事業	青年教育事業	女性教育事業	成人教育事業	
				家庭教育学級	高齢者教室
東目屋公民館	スポーツと防火訓練、グラウンドゴルフ、チャレンジキッズ（ユニカール、革のコインケース作り、リズムジャンプ）	ヨガ講座	料理教室、陶芸教室、正月のフラワーアレンジメント、あけびつる細工	—	健康講座（足つぼマッサージ、減塩の必要性）、教養講座（毎日を明るい気持ちで過ごすために、レザーコインケース作り、岩木山信仰と仏教、津軽の昔語り、寄せ植え、弘前の文化祭）
和徳公民館	フラワーアレンジ、陶芸教室、津軽塗研ぎ出し体験	ヨガの基本、サンキヤッチャー	寄せ植え、華道教室、ペパナブフラワー、着物リメイク、ツールペイント	—	城東小5・6年生とジャガイモ植付け・収穫、歴史講座（宮越家の由来）、グラウンドゴルフ
東部公民館	津軽塗、ドローン、英語であそぼう	三浦呑龍「弘前ねぶたの魅力語る」	ジェルランタン、移動学習（環境プラザ、盛美園）	いのちのお話	移動学習（レンガ倉庫美術館）、映画鑑賞、グラウンドゴルフ
清水公民館	スキー教室	こぎん刺し、健康体操教室	リサイクル回収、寄せ植え	美化運動、アレンジフラワー	軽スポーツ（グラウンドゴルフ）、交通安全教室、健康講座（温泉ソムリエ）、教養講座（大道芸：ガマの油売り口上&語り部）
石川公民館	みんな集まれ！子ども冬フェス	アロマで石けん作り講座	花の寄せ植え、笑顔になれるお弁当作り講座、津軽塗スプーン作り	革小物づくり、料理講座（毎日の料理が楽しくなるレシピ）	花の寄せ植え、座ってできる体操講座、生菓子作り講座、津軽塗スプーン作り
堀越公民館	クロスカントリースキー教室、堀越小卒業生へのペパナブフラワーリース作り	リラックスヨガ講座	—	ホームステイでこぎん刺し	交通安全講話

公民館名	少年教育事業	青年教育事業	女性教育事業	成人教育事業	
				家庭教育学級	高齢者教室
千年公民館	—	スマートフォン講座①・②	ステンシル型染め、ペパナプフラワーリースづくり、ヤクルト出前講座(免疫力と乳酸菌)	移動教室(オープンガーデン大澤邸)、健康講話(介護制度と使い方)、アレンジフラワー講習、健康講座(認知症を予防する食生活)	マジック笑、終活教育講座(自分らしく生きる)、久渡寺住職講話(秘仏開帳)、あんよセラピー、健康出前講座(免疫力と乳酸菌)、正月用生け花講習
船沢公民館	花いっぱい運動、ねふた絵付け	ラベル表示のいろいろ講座	ZOOM オンライン勉強会	—	グラウンドゴルフ教室、花寄せ植え教室
高杉公民館	器械体操教室、りんご探検隊、お米探検隊、命の健康講座、陶芸講座、郷土料理講座、苔玉づくり講座、門松づくり講座、認知症サポート講座	多肉植物寄せ植え教室、雑貨リメイク講座	料理教室、手芸教室、健康体操教室、プリザーブドフラワー講座、正月用アレンジフラワー講座	—	雑巾づくり・雑巾贈呈式、高杉流棒サッカー大会、健康講話及び健康体操講座
裾野公民館	—	摘果巡回講座、園地視察、剪定講習会	パッチワーク講座、エコクラフト作り、健康体操、料理教室(免疫力アップの健康料理)	読み聞かせ会、津軽凧作り、地域伝承講座(鬼神社の歴史他)	健康体操教室、仏教講座
新和公民館	—	軽音楽教室	料理教室(夏野菜を使った料理)、クリスマスリース作り	ヨガ教室、軽音楽教室	—
藤代公民館	そば打ち教室	料理教室(飾り巻き寿司、旬の秋サケを使ったレシピ)、健康講座(爪ケア、正しい手洗い)	—	グラウンドゴルフ、終活講座(墓じまい)	そば打ち教室

地区公民館まつり・地区文化祭実施状況一覧(令和3年度)

公民館名	月 日	主な内容
東目屋公民館	12月5日～12月11日	作品展示
和徳公民館	—	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止
東部公民館	—	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止
清水公民館	10月5日	グラウンドゴルフ大会
石川公民館	—	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止
堀越公民館	—	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止
千年公民館	—	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止
船沢公民館	—	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止
高杉公民館	—	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止
裾野公民館	—	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止
新和公民館	—	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止
藤代公民館	—	新型コロナウイルス感染症の影響等により事業中止

2-3 博物館

弘前市立博物館は、国指定史跡の弘前城跡三の丸の一角に、日本近代建築の巨匠である前川國男氏の設計により、昭和52年4月に「知と美の調和」を掲げ、オープンした。

平成25年に、前川建築としての意匠を保全しながら大規模な改修工事を行い、平成26年4月にリニューアルオープンをした。

津軽の歴史、美術工芸、その他の資料の収集、保管、展示等を行い、歴史・芸術に関する資料を広く一般に供し、地域文化の向上を図る社会教育施設として一層の充実に努める。

(1) 常設展

縄文から近現代までの弘前の歴史と文化を通年で展示・紹介している。国指定重要文化財「猪形土製品（愛称いのっち）」を始め、お山参詣やねぶたなどの資料も展示している。

(2) 企画展

津軽地方に残された貴重な文化財、芸術作品などを紹介・展示し、郷土を理解するよう企画する。テーマに沿った企画展示を年間3回程度開催する。

(3) 特別企画展

地域文化の向上を図るため、優れた歴史・美術工芸作品を展覧し、芸術鑑賞の機会の充実に努める。

(4) イベント

博物館ロビーにおいて、講演会、コンサート等を年数回実施し、さまざまな芸術文化に触れる機会を創出し、地域文化の向上を図る。

(5) 他館との連携

市有バスで市内小・中学校まで送迎・観覧する事業を実施する。高岡の森弘前藩歴史館や弘前れんが倉庫美術館と連携し、学習機会の充実に努め地域を愛する人材を育成する。

実施事業

事業名	内容
企画展1 「弘前の文化財」	近年新たに文化財の指定や登録を受けた資料とともに、当館に収蔵されている郷土を代表する貴重な「弘前の文化財」を紹介する。 4月2日(土)～5月8日(日) 36日間
特別企画展1 「歌川広重 二つの東海道五拾三次」	歌川広重が旅の様子を大胆かつ克明に描き出した「東海道五拾三次」は出版元の意向や経済状況など時代の雰囲気の色濃く反映されている。なかでも「保永堂版」と特に現存数も少ない「丸清版」で、同じ宿場を描いていても異なる、構図・色数・登場人物を比較しながら、時代を席卷した浮世絵の魅力を紹介する。 5月21日(土)～7月10日(日) 51日間
企画展2 「弘前ねぶた300年」 これまでの300年、これからの300年	弘前ねぶたが記録にあらわれて今年で、300年になる。これまでの300年を振り返り、これからの300年を考える。 前期：7月23日(土)～8月14日(日) 後期：8月20日(土)～9月25日(日) 59日間
企画展3 「青森県の版画家たち」	令和2年に生涯を閉じた弘前市出身の世界的版画家・天野邦弘氏の三回忌にあたる年に、ご遺族から寄贈された天野氏の画業にまつわる資料と、青森県を代表する版画家たちの作品も織り交ぜながら、「青森県の版画家」の魅力を紹介する。 前期：10月8日(土)～11月13日(日) 後期：11月19日(土)～12月18日(日) 65日間
特別企画展2 「サルバドール・ダリ」	画家としてだけでなく、映画や演劇、ファッションなどの異分野へも積極的に参画し、芸術と芸術家のあり方を変革したサルバドール・ダリの、大胆かつ奇抜な発想と卓越した描写力で超現実的な世界観が描かれた版画作品を中心に、ダリの新たな一面を紹介する。 1月14日(土)～3月26日(日) 72日間

2-4 高岡の森弘前藩歴史館

当地の歴史・文化を語る上で欠くことのできない貴重な歴史・美術工芸資料の適正な管理保存と、展示公開のため「津軽歴史文化資料展示施設」の整備が計画された。平成22年度の基礎調査より事業着手し、27年度現地着工、29年度に竣工した。施設名称は公募により「高岡の森弘前藩歴史館」と決定し、平成30年4月1日にオープンを迎えた。施設整備に併せて、弘前藩が江戸時代後期に築造した高照神社馬場跡について、土塁や砂敷きを復元し、園路・東屋・案内板を整備した。

多くの人々に公開する環境を整え、藩政時代からの歴史・文化資料をもって、地域の立体感のある遺構空間の形成を図る。

(1) 常設展

地域の成り立ちに大きく関わる弘前藩主家津軽氏や藩士たちの旧蔵資料を中心とした展示を行う。津軽信政着用具足、津軽領や弘前城下の絵図、弘前藩の歴史年表・家系図、岩木山を中心とした地形模型などにより弘前藩の歴史像や地域像を紹介する。

(2) 企画展

弘前藩4代藩主津軽信政を祀る高照神社の所蔵品を中心に、市が所蔵する弘前藩に関わる歴史資料・美術工芸資料を展示し、江戸時代の弘前を理解できるよう企画する。武具刀剣類を含む美術工芸資料や、絵図・古文書を含む歴史資料などを、年間4回程度テーマに沿って企画展示する。

(3) 高照神社馬場跡等の活用イベント

高照神社馬場跡における流鏝馬イベント、歴史館での古武道イベント、コンサート等を実施し、歴史館及び馬場跡の利活用を促進する。

(4) 他館との連携

市有バスで市内小・中学生を送迎、観覧する事業を実施する。弘前市立博物館や弘前れんが倉庫美術館と連携し、幅広い学習機会の充実を図り地域を愛する人材を育成する。

実施事業

事業名	内容
春の企画展 「武家のみやび」	弘前藩主津軽家と藩士たちの暮らしを彩った文具・屏風などの調度品や書画を紹介する。 4月8日(金)～7月3日(日) 84日間
夏の企画展 「津軽刀工伝」	弘前藩お抱えの刀工による郷土刀を中心に、弘前藩主津軽家や藩士たちに伝来した刀剣などを幅広く紹介する。 7月15日(金)～9月11日(日) 57日間
秋の企画展 「弘前藩の知と技」	弘前藩4代藩主信政によって招かれた知識人や技術者を中心に、産業・文化振興をもたらした知と技を紹介する。 9月23日(金)～12月18日(日) 85日間
冬の企画展 「岩木山と岩木川」	津軽の人々の拠りどころで青森県最高峰の岩木山、白神山地を源とし津軽平野を縦貫する岩木川。津軽の人にとって歴史的・精神的に大切な山と川について紹介する。 1月6日(金)～3月26日(日) 77日間

2-5 図書館（指定管理）

弘前図書館、岩木図書館、駅前分室こども絵本の森、相馬ライブラリー（直営）は生涯学習を推進する施設として、市民の多様化、高度化する要求にも対応できる資料の収集と提供に努め、市民の身近な図書館を目指す。そのため、各種講座や各種事業による学習機会を提供し、生涯学習の支援に努める。また、特定のジャンルに偏ることなく、広く資料を収集するとともに、時代に即した資料、地元産業に関わる資料、市民の要望に配慮した資料の収集に努める。なお、弘前図書館では、貴重な古文書等の資料の整備保存に努め、全国レベルの調査研究に対応できる図書館を目指す。

また、駅前分室こども絵本の森は、乳幼児のための絵本を備えるとともに、保護者向けの関連図書資料も用意するなど子育て支援に重点を置いた図書館となっている。

平成29年4月から、指定管理者による運営を始め、市民サービスの更なる向上を図っている。

実施事業

【弘前図書館】

事業名	内容
おたのしみおはなし会	読み聞かせや紙芝居等を通じて、読書への導入を図る。（毎月第1～第4土曜日）
夏休みおはなし会	小学生を対象に、夏・冬にちなんだ物語を題材に、読み聞かせや紙芝居等を通じて、読書普及を図る。夏休みおはなし会（7月）、クリスマスおはなし会（12月）
クリスマスおはなし会	
図書館のお仕事やってみ隊	小学生を対象にした図書館の仕事の体験学習を実施する。（7月、8月）
おはなしと読み聞かせ講習会	一般市民を対象にした読み聞かせの技術講習会を実施する。（未定）
手作り絵本講習会	手作り絵本制作の技術講習会を実施する。（未定）
ロビー展示	テーマを設定して図書資料を紹介、展示する。（通年）
閲覧室内資料展示	テーマを設定し、図書の展示をする。（未定）
小・中学生読書感想文コンクール	読書に対する関心と文章力の向上を図るため、市内小・中学生から読書感想文を募集し、入選作品は文集「はと笛」に掲載する。（7月～11月）
文集「はと笛」発行	小・中学生読書感想文コンクールの入選作品を文集として発行する。（3月）
館報「はと笛」発行	巻頭随想、新着本の紹介、図書館行事等のPRをする。（年4回）
ブックスタート事業	乳幼児期から読書に親しめる環境をつくるため、0歳児の保護者に絵本等を配布する。（通年）
図書郵送サービス	在宅の障がい者を対象に、図書を郵送貸し出しする。（通年）
対面朗読サービス	点字読書室でボランティアによる視覚障がい者への図書の朗読を実施する。（通年）
相互貸借サービス	利用者の希望に応じ、他の図書館と図書を貸し借りする。（通年）
読書団体への配本業務	登録されている市内の読書団体へ3ヶ月更新で貸出図書の配本・回収を行う。（通年）
雑誌スポンサー事業	企業等に雑誌の購入費用の一部を負担していただき、購入雑誌にスポンサー企業の広告を載せる。（通年）
リサイクル図書事業	移動図書館専用の図書で除籍したものを地区公民館、読書団体、小・中学校に譲渡する。（12月）
雑誌の無料提供	保存年限が過ぎ、除籍した雑誌のバックナンバーを市民に無料提供する。（10月）
学校図書館訪問事業	小・中学校の図書館の現状を把握し助言等を行う。（7月～2月）
弘前ライブラリーシネマ	図書館で映画の上映会を開催し、潜在利用者の来館を促す。（未定）
図書館コンサート	図書館を文化・芸術の場として開放し、利用促進を図る。（未定）
調べる学習コンクール	調べ学習を通して知的好奇心を育み、課題解決能力の向上を目指す。（7～11月）
移動図書館の一日開放	移動図書館車「はと笛号」を知ってもらうために1日開放して利用促進を図る。（未定）
ぬいぐるみの図書館おとまり会	大切なぬいぐるみが図書館に泊まって探検する疑似体験を通して図書館を身近な場所として感じてもらう。（未定）
ビブリオバトル	おすすめの本を紹介しあうことで、個々の表現力の向上を図るとともに読書意欲を高める。（未定）
まるかじり本棚弘前	おすすめしたい本を持ち寄って訪れた人に自由に読んでもらい市民の交流の場を創設する。（通年）
観光案内コーナー	ロビーの一角に市内及び近郊の観光パンフレットを置く。（通年）

事業名	内容
パスファインダー	探している情報にいち早くたどり着けるよう、関連図書の紹介を行う。(通年)
児童作家講演会	児童作家による講演会を開催し、読書意欲を高め利用促進を図る。(未定)
市民講座	市民を講師に身近なテーマの講座を行い、地元への愛着を深めてもらう。(未定)
大人のための図書館見学	大人を対象にした図書館見学を行い図書館にいままで以上に親しんでもらい利用促進を図る。(未定)
4館スタンプラリー	弘前市立図書館4館のPRのため、各館にオリジナルスタンプを設置し、全て廻ると記念品をプレゼントするスタンプラリーを実施する。(8月)
来館記念スタンプ	来館記念のスタンプを設置し図書館の利用促進を図る。(通年)

【岩木図書館】

事業名	内容
メエメエさんおはなし会	読み聞かせや紙芝居・手遊びなどを通じて、読書への導入を図る。(毎週土曜日)
夏休み応援企画	小学生の夏休み自由研究・工作の一助となるイベントを開催する。(7月)
あおもり冬の読書週間	読書の習慣を育む企画展示を開催する。(1月)
読書週間	読書のすばらしさ、読書の習慣が身につくように、さまざまな企画展示を開催する。(10月～11月)
図書館まつり	岩木文化祭にあわせて、絵本作家ささやすゆき先生による手作り絵本の講習会及びボランティアによる読み聞かせ会を行う。(11月)
おはなしクリスマス会	クリスマスのおはなし・工作教室等を通じて、読書普及を図る。(12月)
相互貸借サービス	利用者の希望に応じ、他の図書館と図書の貸し借りをする。(通年)
ブックスタート事業	乳幼児期から読書に親しめる環境をつくるため、0歳児の保護者に絵本等を配布する。(通年)
ぬいぐるみのおとまり会	大切なぬいぐるみが図書館に泊まって探検する疑似体験を通して図書館を身近な場所として感じてもらう。(未定)
いわきあずまライブラリー	おすすめしたい本を持ち寄って訪れた人に自由に読んでもらい市民の交流の場を創設する。(通年)
4館スタンプラリー	弘前市立図書館4館のPRのため、各館にオリジナルスタンプを設置し、全て廻ると記念品をプレゼントするスタンプラリーを実施する。(8月)
来館記念スタンプ	来館記念のスタンプを設置し図書館の利用促進を図る。(通年)

【駅前分室こども絵本の森】

事業名	内容
ブックスタート事業	乳幼児期から読書に親しめる環境をつくるため、0歳児の保護者に絵本等を配布する。(通年)
ブックスタートおはなしかい	ブックスタートでプレゼントする絵本の楽しみ方などをアドバイスし、読み聞かせへの関心を高める。(毎月第3日曜日とその次の週の水曜日)
えほんのもりのおはなしかい	絵本の読み聞かせなどで読書への導入を図る。(毎月第1日曜日とその次の週の水曜日)
こどもの読書週間	利用者の好きな本を紹介してもらい、展示や貸し出しを行う。(4～5月)
わくわくクイズラリー おはなしクイズラリー	小学生以下を対象にテーマを設定し、その本に関するクイズや間違い探し等に挑戦してもらう。わくわく(7～8月)、おはなし(12～1月)
秋の読書週間	利用者の好きな本を紹介してもらい、展示や貸し出しを行うとともに、おはなしの世界の「顔出しパネル」などで記念撮影を行う。(10～11月)
パパとじいじとえほんあそび	お父さん、お爺さんを対象に、子どもや孫と一緒に絵本で遊び、本に触れあうきっかけづくりと読み聞かせへの足掛かりを作る。(未定)
ミニ展示コーナー	季節や郷土絵本作家などの作品を集めてミニ展示を行い、本への関心を深めてもらう。(通年)
「テーマ別絵本」展示	毎月テーマに沿って展示、貸し出しを行い、絵本への興味を喚起する。(通年)
雑誌バックナンバー無料配布	保存期間を過ぎた雑誌のバックナンバーを無料提供する。(2月)
ハッピーボックス	ガチャポンのカプセルに鍵を入れ、出てきた番号のロッカーに入っている本を借りていくことを通して本への関心を高めてもらう。(随時)
4館スタンプラリー	弘前市立図書館4館のPRのため、各館にオリジナルスタンプを設置し、全て廻ると記念品をプレゼントするスタンプラリーを実施する。(8月)
来館記念スタンプ	来館記念のスタンプを設置し図書館の利用促進を図る。(通年)

【 相馬ライブラリー 】 (直営)

事業名	内容
そうまライブラリーおはなし会	読み聞かせや紙芝居等を通じて、読書への導入を図る。 (毎月第2日曜日)
夏休み特別企画おはなし会	読み聞かせや紙芝居、寸劇などを通じて、読書への導入を図る。 (8月第2日曜日)
相馬ライブラリーおすすめコーナー	背表紙だけでは借りることの少ない本を、季節ごとのテーマで選書、展示や貸し出しを行い、読書への導入を図る。 (通年 年4回)
郷土の作家コーナー	郷土作家などの作品を集めて展示を行い、地元の作家に興味を持ってもらい、利用促進を図る。 (通年)
青森県立図書館コーナー	青森県立図書館からテーマ別のセット本を借受けて展示、貸し出しを行い、読書への導入を図る。 (随時 年2~7回)
ブックスタート事業	乳幼児期から読書に親しめる環境をつくるため、0歳児の保護者に絵本等を配布する。 (通年)
4館スタンプラリー	弘前市立図書館4館のPRのため、各館にオリジナルスタンプを設置し、全て廻ると記念品をプレゼントするスタンプラリーを実施する。 (8月)
来館記念スタンプ	来館記念のスタンプを設置し図書館の利用促進を図る。 (通年)

2-6 郷土文学館（指定管理）

郷土出身の作家や郷土にゆかりのある作家に関する資料を広く収蔵・公開し、市民の文学に対する関心と理解を高めるとともに、地域文化の発展をめざす社会教育施設として一層の充実に努める。

平成29年4月より、指定管理者による運営を始め、市民サービスの更なる向上を図っている。

(1) 常設展

郷土出身作家10人の文学資料の展示を中心に、さらに資料の充実を図りながら、より理解が深まる展示に努める。

(2) 企画展

テーマを設定し、作家の業績を様々な角度から展示紹介する企画展と、これを記念する行事としての講演会などを開催し、郷土ゆかりの文学者の業績と人間像に触れる機会を広く提供する。

(3) スポット企画展

常設展や企画展で展示できない資料や新たに収蔵した資料を折々の話題に即して展示し、収蔵資料を広く公開する。

(4) 北の文脈文学講座

企画展等の展示資料をもとに、朗読や解説を加えながら鑑賞する文学講座を開催し、郷土作家の人と作品について理解を深めてもらう。

(5) 催し「ラウンジのひととき」

弾き語り、コンサート、ドラマリーディングなど、郷土文学と「音」のコラボによるひとときを楽しむ催しを行う。（平成30年度から開始）

(6) 特別展 文学忌

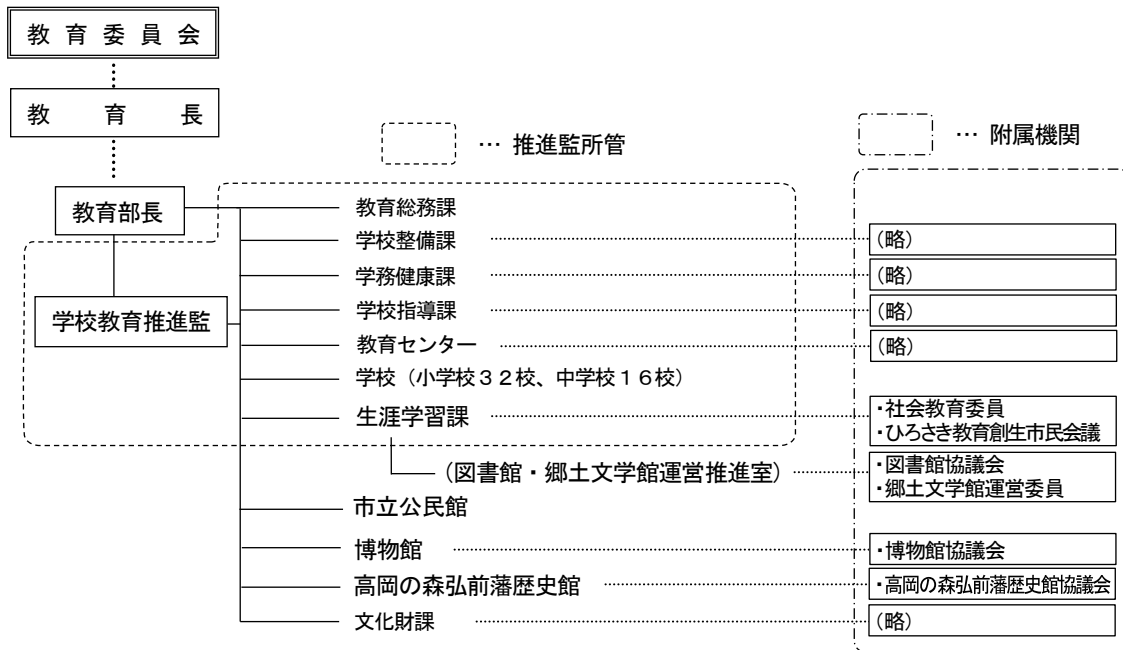
常設作家を中心とした郷土作家の忌日にあわせ、作家にちなんだ特別展示を行う。（令和2年度から開始）

実施事業

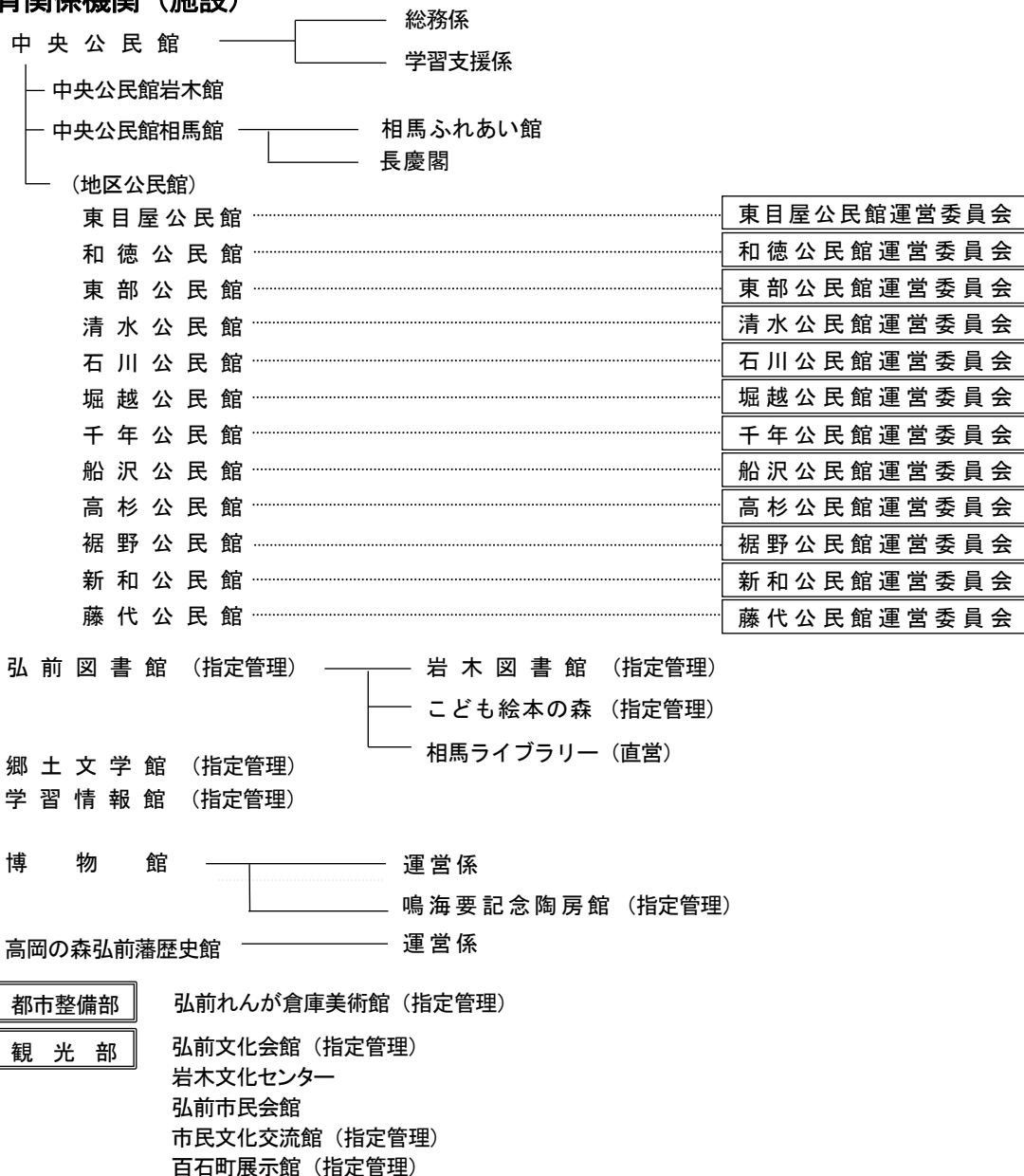
事業名		内容
企画展	第46回企画展	一戸謙三の抒情詩の魅力と長い詩歴の変遷を読み解き、その詩業の真価にあらためて迫る。 (令和4年4月1日～令和5年3月21日)
	記念講演会	内容未定 (令和4年8月20日を予定)
スポット企画展	弘前の詩人(1)	弘前の詩人を紹介する。 (令和4年4月中旬～6月中旬を予定)
	弘前の詩人(2)	弘前の詩人を紹介する。 (令和4年6月中旬～9月中旬を予定)
	弘前の詩人(3)	弘前の詩人を紹介する。 (令和4年9月中旬～11月末を予定)
	新収蔵資料展	近年新たに収蔵した資料を中心に展示・紹介する。 (令和4年12月～令和5年2月中旬を予定)
	現在活躍中の作家展	鎌田慧、三浦雅士ら、津軽出身で現在活躍中の作家の著作などを紹介する。 (令和5年2月中旬～4月中旬を予定)
講座	北の文脈文学講座	企画展・スポット企画展で展示している作家や資料を、朗読や解説を加えながら鑑賞する文学講座を実施する。 (令和4年5月～12月までの第3土曜日。ホームページ等でお知らせ)
催し	ラウンジのひととき	2階ラウンジを会場に、弾き語り、コンサート、ドラマリーディングなど、郷土文学と「音」のコラボによるひとときを楽しむ催しを行う。 (令和4年5月～12月までの第1土曜日。ホームページ等でお知らせ)
特別展	文学忌	①平田小六(5月18日)②佐藤紅緑(6月3日)③太宰治(6月19日)④葛西善蔵(7月23日)⑤陸羯南(9月2日)⑥一戸謙三(10月1日)⑦石坂洋次郎(10月7日)⑧福士幸次郎(10月11日)⑨長部日出雄(10月18日)⑩高木恭造(10月23日)⑪今官一(3月1日)

3 行政機構図

(令和4年4月1日現在)



社会教育関係機関（施設）



4 社会教育関係施設等

4-1 社会教育施設

(令和4年4月現在)

名称	電話	配置形態 複合・単独・併設	所在地	面積 m ²		建築 年月	構造	部屋
				建物	敷地			
中央公民館	33-6561 33-6562 33-6563 Fax33-4490	複合 (弘前文化会館)	〒036-8356 下白銀町19-4 弘前文化センター 内	3,608.00	11,512.88	昭和 56・7	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	弘前文化センター改修 中のため、中央公民館 岩木館内へ事務室移転 (令和3年4月～ 令和5年3月予定)
中央公民館 岩木館	82-3214 Fax82-3426	複合 (岩木図書館) 併設 (岩木文化センター)	〒036-1313 賀田一丁目18-3	2,500.88	9,861.77	昭和 56・11	鉄筋コンクリート造 地上2階	ホール 和室2 研修室2 展示室 会議室 視聴覚室 創作室 音楽室 茶室 調理実習室
中央公民館 相馬館	84-2316 Fax84-2328	複合 (相馬7ゲラー ・相馬総合支所 ・御所温泉)	〒036-1592 五所字野沢41-1 弘前市相馬庁舎内	491.97	9,476.49	平成 25・2	鉄骨コンクリート造 平屋	和室 調理実習室 研修室3
長慶閣	—	単独	〒036-1592 五所字野沢45-3	935.40	3,457.47	昭和 58・8 (平成 26・3 改修)	鉄骨コンクリート造 平屋	多目的研修集会室 控室2
東目屋公民館	86-2112	複合 (東目屋 出張所)	〒036-1451 中野字中豊田20 東目屋ふれあいセ ンター内	2,134.00	9,395.33	平成 11・3	鉄筋コンクリート造 平屋	調理室 和室 研修室 体育・集会室 談話室 資料室 図書室 会議室
和徳公民館	36-4747	単独	〒036-8071 大久保字沼田204- 3	313.20	1,169.00	昭和 49・9	木造 平屋	講堂 会議室 和室 図書室 調理室
東部公民館	27-5800 Fax27-5809	複合 (学習情報館 ・教育センター)	〒036-8085 末広四丁目10-1 弘前市総合学習セ ンター内	1,453.36	6,473.67	平成 7・7	鉄筋コンクリート造 地上4階 塔屋1階	調理室 集会室 会議室2 茶室 多目的ホール 地域交流室
清水公民館	88-2110	単独	〒036-8243 小沢字御笠見46- 10	525.91	1,759.70	昭和 59・3	木造一部鉄骨 平屋	研修室 集会室 図書室 和室2 調理室
石川公民館	92-3405	複合 (石川出張所)	〒036-8124 石川字石川114-1	865.37	2,224.00	昭和 54・3	鉄骨造 2階	図書室 会議室2 調理室 大研修室 和室2
堀越公民館	27-2635	単独	〒036-8111 門外2-3-11	525.91	1,336.42	昭和 58・1	木造 平屋	集会室 研修室 図書室 和室2 調理室
千年公民館	87-2130	単独	〒036-8127 小栗山字川合115- 1	604.07	2,586.04	昭和 59・12	木造 平屋	和室2 集会室 調理室 研修室 図書室
船沢公民館	96-2323	複合 (船沢出張所)	〒036-8383 折笠字宮川95-5	765.96	2,886.66	平成 2・3	木造 平屋	研修室2 会議室2 和室 図書室 調理室
高杉公民館	95-2336	複合 (高杉出張所)	〒036-8381 独狐字山辺72-1 北辰学区高杉ふれ あいセンター内	1,559.53	12,857.15	平成 19・9	鉄骨造 平屋	体育室 研修室2 和室2 世代交流室2 図書室 調理実習室
裾野公民館	93-2810	複合 (裾野出張所)	〒036-1203 大森字勝山81-1 農村環境改善セン ター内	1,077.09	4,175.60	昭和 53・6	鉄筋コンクリート造 2階	ホール 研修室 図書室 会議室 和室2 保健室
新和公民館	72-1517	複合 (新和出張所)	〒038-3614 種市字熊谷5-1	497.27	1,133.48	昭和 52・11	木造 平屋	講堂 和室 研修室 調理室 図書室
藤代公民館	32-1977	単独	〒036-8318 八代町2-10	389.11	1,041.43	昭和 50・10	木造 平屋	講堂 会議室 和室 図書室 調理室

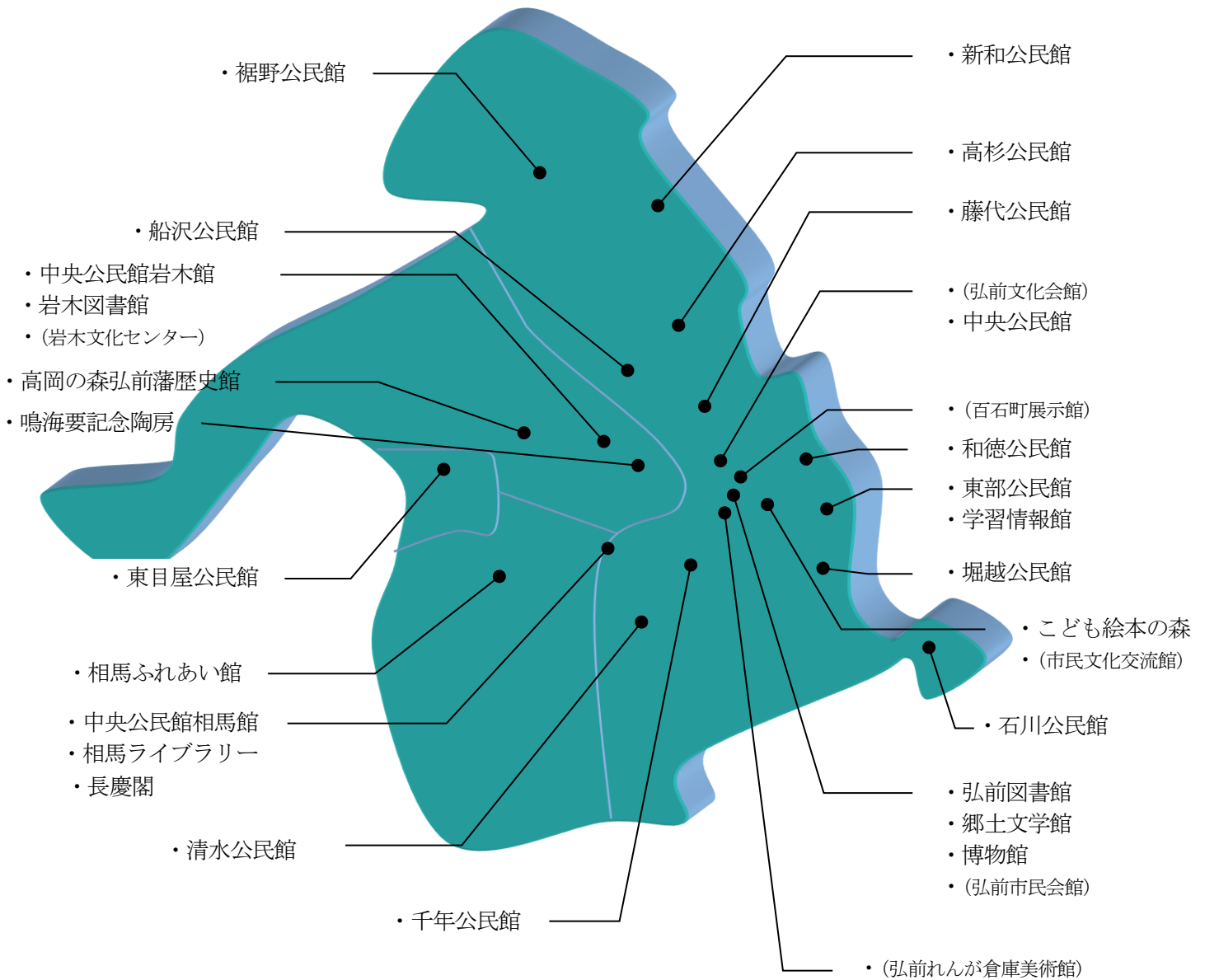
名称	電話	配置形態 <small>複合・単独・併設</small>	所在地	面積 m ²		建築 年月	構造	部屋
				建物	敷地			
弘前図書館	32-3794 Fax36-8360	複合 (郷土文学館)	〒036-8356 下白銀町2-1	4,922.77	5,501.61	平成 2・3	鉄筋コンクリート造 地下2階 地上3階	貸出閲覧室 調査室 読書学習室2 点字読書室 視聴覚室 書庫
こども絵本の森	35-0155	複合 (ヒロロ スクエア)	〒036-8003 駅前町9-20 ヒロロ内	264.20	9,910.13	平成 6・3 (平成 25・7 改修)	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上7階	貸出閲覧室 書庫・事務室
岩木図書館	82-1651 Fax82-5150	複合 (中公岩木館) 併設 (岩木文化センター)	〒036-1313 賀田一丁目18-3	399.00	9,861.77	昭和 56・11	鉄筋コンクリート造 地上2階	閲覧室 児童室 学習室 書庫
相馬 ライブラリー	84-2316 Fax84-2328	複合 (中公相馬館 ・相馬総合支所 ・御所温泉)	〒036-1592 五所字野沢41-1 弘前市相馬庁舎内	135.81	9,476.49	平成 25・2	鉄骨コンクリート造 平屋	閲覧室 児童室
郷土文学館	37-5505 Fax36-8360	複合 (弘前図書館)	〒036-8356 下白銀町2-1	594.26	5,501.61	平成 2・3	鉄筋コンクリート造 地下2階 地上2階	常設展示コーナー 方言詩コーナー 企画展示コーナー 石坂洋次郎記念室
博物館	35-0700 Fax35-0707	単独	〒036-8356 下白銀町1-6	2,279.59	4,879.38	昭和 51・8 (平成 25・12 改修)	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上一部2階	展示室4 展示ホール
鳴海要 記念陶房館	82-2902	単独	〒036-1313 賀田字大浦1-2	274.81	1,034.02	平成 15・3	鉄筋コンクリート造・ 一部木造 平屋	展示室 窯場 ホール 陶房
高岡の森 弘前藩歴史館	83-3110 Fax26-5456	単独	〒036-1344 高岡字獅子沢 128-112	1,636.56	4,114.78	平成 30.2	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上一部2階	展示室4 映像・講話室 資料閲覧室
弘前れんが 倉庫美術館 (所管:都市整備部 都市計画課)	32-8950	単独	〒036-8188 吉野町2-1	3,089.59	5,312.76	大正 12・1 (令和 2・2 改修)	れんが造、一部 鉄骨造、鉄筋コ ンクリート造、木造 地上2階	展示室5 スタジオ3 市民ギャラリー ライブラリー
学習情報館	26-4800 Fax26-2250	複合 (東部公民館 ・教育センター)	〒036-8085 末広四丁目10-1 弘前市総合学習セ ンター内	3,074.46	6,473.67	平成 7・7	鉄筋コンクリート造 地上4階 塔屋1階	会議室 セミナー室 視聴覚室 工芸室 コンピュータ研修室
相馬 ふれあい館	84-3475	単独	〒036-1515 相馬字八反田25-1	467.62	6,567.34	昭和 52.12 (平成 27・3 改修)	鉄筋コンクリート造 平屋	多目的ホール 和室2 調理室 運動広場
少年野外 研修場	— (H22~休止中)	単独	〒036-1343 百沢字東岩木山 3067	113.67	40,622.53	(設置) 昭和52	木造	避難棟 炊事場 トイレ

4-2 文化施設 (所管：観光部 文化振興課)

名称	電話	配置形態 <small>複合・単独・併設</small>	所在地	面積 m ²		建築年月	構造	部屋
				建物	敷地			
弘前市民会館	32-3374 32-3375 Fax32-3381	単 独	〒036-8356 下白銀町 1-6	5,593.73	490,000.00	昭和 39・4 (平成 25・12 改修)	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	ホール 1,343席 会議室4 和室1 楽 屋6 ロビー ホワイエ
弘前文化会館	33-6571 33-6572 Fax33-6570	複 合 (中央公民館)	〒036-8356 下白銀町 19-4 弘前文化センター 内	3,558.26	11,512.88	昭和 56・7	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	※長寿命化改修工事の ため休館中 (令和3年4月～ 令和5年3月予定)
岩木文化センター	82-3214	併 設 (中公岩木館 ・岩木図書館)	〒036-1313 賀田一丁目 18-4	2,766.91	9,861.77	平成 13・2	鉄筋コンクリート造 地上2階 地下1階	ホール 楽屋4 パントリー ミニシアター
市民文化交流館	35-0154 Fax31-0261	複 合 (ヒロロ スクエア)	〒036-8003 駅前町 9-20 ヒロロ内	1,015.63	9,910.13	平成 6・3 (平成 25・7 改修)	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上7階	ホール 多世代交流室6 イベントスペース コミュニケーションゾーン
百石町展示館	31-7600 Fax31-7623	単 独	〒036-8035 百石町 3-2	779.66	2,171.36	明治16 (平成 16・4 改修)	鉄筋コンクリート造 2階	展示室3 情報コーナー 喫茶コーナー

※「面積」、「建築年月」及び「構造」の主な出典は「弘前市公共施設カルテ（令和2年度版）」です。
「敷地面積」は、施設が配置されている敷地の面積を示しています。
「構造」については、施設が配置されている建物の全体を示しています。

弘前市の社会教育関係施設配置図





発行／弘前市教育委員会
年月／令和4年4月